

B.ISLAND

VOL.14
2015

2015年度の企画展 今年度も多彩な展覧会を企画しています。是非ご来館ください。

2015年2月28日(土) — 5月6日(水・振)

生誕100周年 トーベ・ヤンソン展 ~ムーミンと生きる~



トーベ・ヤンソン「ムーミン谷の彗星」挿絵
1954年(タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館) © Moomin Characters™

世界中で愛され続ける「ムーミン」シリーズを生んだフィンランドの作家、トーベ・ヤンソン(1914-2001)の大規模な回顧展を開催します。本展では、代表作である「ムーミン」シリーズの原画はもちろん、初期の風刺画や「不思議の国のアリス」などの挿絵、生涯描き続けた油彩など、約400点を展示します。また、作家がフィンランド湾の孤島・クルーフ島に建てた「夏の家」を実寸で再現するなど、そのライフスタイルや世界観にも焦点を当て、ヤンソンの創作の全貌をご紹介します。

5月16日(土) — 6月28日(日)

日韓近代美術家のまなざし
—「朝鮮」で描く

李快大《自画像》1948-49年 遺族蔵

韓国にゆかりが深い藤島武二や湯浅一郎、土田麦僊、山口長男ら日本近代美術を代表する作家たち、高羲東(コ・フィドン)や李仁星(イ・インソン)、李仲慶(イ・ジョンソブ)、金煥基(キム・ファンギ)、李快大(イ・クエデ)ら韓国近代美術の巨匠たちの作品の他、戦前の在「朝鮮」日本人作家の作品なども、最新の研究成果をふまえて多数ご紹介します。

7月11日(土) — 8月30日(日)

生誕100年 亀倉雄策展



戦後日本を代表するグラフィック・デザイナー、亀倉雄策(1915-1997 新潟県燕市出身)の生誕100年を記念した回顧展を開催します。《東京オリンピック》や《EXPO'70》など、初期から晩年にいたる代表的なポスター作品を紹介するとともに、装幀やパッケージの仕事、制作過程を知ることのできるスケッチ類、当時の資料写真や愛用の品などをあわせて展示し、その業績を振り返ります。
（EXPO'70）ポスター 1967年

9月19日(土) — 11月8日(日)

三宝院開創900年記念
世界遺産 京都・醍醐寺展

京都の東南・山科盆地に位置する名刹醍醐寺は、平安の昔から桜の名所として知られ、豊臣秀吉が慶長3(1598)年に催した「醍醐の花見」でも有名です。天皇や公家、武家との深い関わりから貴重な文化財が多数伝わり、平成6(1994)年には世界文化遺産にも登録されました。本展覧会は日本海側初の大規模展で、灌頂院(三宝院)の開創900年を記念して開催されるものです。国宝《文殊渡海図》、重要文化財の快慶作《不動明王坐像》をはじめ、脈々と継承されてきた貴重な寺宝を紹介します。



2015年11月28日(土) — 2016年2月28日(日)

蜷川実花展

©mika ninagawa,
Courtesy of Tomio Koyama Gallery

現代日本を代表する写真家で、映画、ファッション、広告など様々な分野で表現活動を行うアーティスト蜷川実花。移ろいゆくものへの鋭敏な感性に支えられ、夢のように美しく鮮やかな色彩で創り上げられた世界は、若い世代を中心に幅広い層から圧倒的な支持を受けています。加えて、華やかさの陰にある暗部にも敏感に反応し、生の本質に迫る強靭さも持ち合わせています。2008-10年に国内巡回して大成功を収めた回顧展から5年を過ぎ、活動20年の区切りを迎えた2015年、新たな領域に切り込む蜷川の世界を紹介します。

2015年度の所蔵品展

新潟県立近代美術館と万代島美術館で所蔵している6,000点を超える作品の中から、テーマを設け、新たな切り口で作品を紹介します。



2016年3月12日(土) — 4月17日(日) ※予定

現代のアートとデザイン

現代のアートは、何を(主題)、どのように(技法)、何で(素材)表現しているのでしょうか。これまでの伝統と対峙し、様々な制約から解放されたアーティストは、新たな領域を探り、より自由な作品を生み出し続けています。新潟県立近代美術館・万代島美術館の所蔵品の中から、「現代」につながる様々な作品を通して、可能性に満ちた豊かなアートの世界を御覧ください。

中村一美《死を悼みて濡れた紫の水瀬に立つ者V》2003年

万代島美術館の所蔵品展と近代美術館のコレクション展に来場された方にスタンプカードを発行し、来場1回につきスタンプを1つ押印します。スタンプを4つ集めた方には粗品を進呈いたします。どうぞご参加ください。

注目の展覧会

5月16日(土) — 6月28日(日)

日韓近代美術家のまなざし — 「朝鮮」で描く



李快大・《自画像》1948-49年 遺族蔵



藤島武二（花籠）
1913年 京都国立近代美術館蔵



金煥基《女性と梅と白磁壺》
1956年 ソウル美術館 ©Whanki Foundation / Whanki Museum

本展は、20世紀前半における日本と韓国の美術、そして美術家同士の交流に焦点を当てた展覧会です。さまざまな矛盾に満ちた「近代」という時代の中、日韓両国の美術家たちは、みずからが置かれた社会的な限界の中でも、その中にとどまらずそれを越えようとする眼差しを持ち、芸術の力で個々の世界を深めていきました。藤島武二や湯浅一郎、土田麦僊、山口長男、浅川伯教・巧、黒田辰秋など日本近代美術を代表する作家たち。高羲東(コ・フィドン)や李仁星(イ・インソン)、李仲燮(イ・ジュンソブ)、金煥基(キム・ファンギ)、李快大(イ・ケデ)、ら、韓国近代美術の巨匠たち。彼ら韓国にゆかりが深い日本の作家たちおよび韓国近代美術史を代表する作家たちの作品以外にも、本展では、これまでほとんど注目されてこなかった戦前の在「朝鮮」日本人作家の作品なども、最新の研究成果をふまえて多数ご紹介します。これにより、この時代のアートシーンの複雑で多元的な侧面もまたご覧いただけるでしょう。困難な社会情勢の中、芸術の力を信じて制作に励んだ先人たちの努力の精華は、21世紀の日韓両国を生きる我々に大きな勇気と希望を与えてくれることでしょう。

7月11日(土) — 8月30日(日)

生誕100年 亀倉雄策 展

新潟県燕市出身のグラフィック・デザイナー亀倉雄策(1915-1997)は、東京オリンピック(1964)や日本万国博覧会(1970)のポスター、NTTやグッドデザインのマークなど、長きにわたり人々の記憶に残る傑作を世に送り出した戦後日本を代表するグラフィック・デザイナーです。また、デザイナーの職能団体の設立や、国際会議の開催、後進の指導においても重要な役割を果たし、グラフィック・デザイン界を牽引する存在として大きな足跡を残しました。

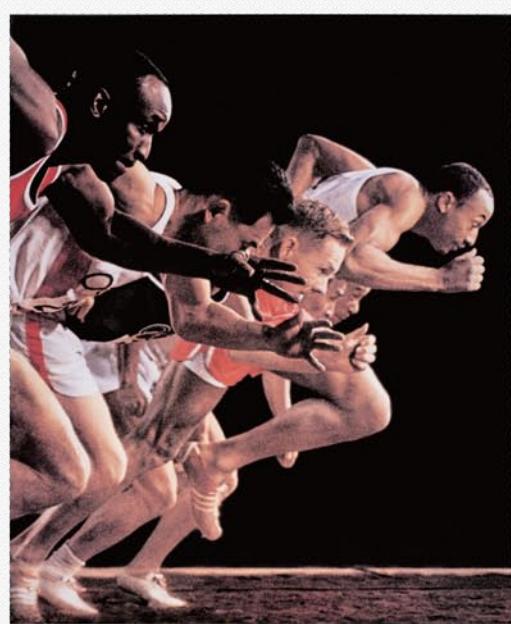
新潟県立近代美術館と万代島美術館では、亀倉の戦後もなくから晩年までのポスターの他、雑誌・書籍の装幀や広告、スケッチや版下、写真資料、また作家がコレクションしていた美術品など、多岐にわたる作品・資料を所蔵しています。本展では、これら所蔵品を軸に、国内所蔵の作品・資料を加え、亀倉の初期から晩年にわたる約400点を紹介し、その偉大な業績を振り返ります。なお、新潟県立近代美術館では「亀倉雄策と『クリエイション』」(11/14~1/17)を開催します。



《ニコンSP》ポスター 1957年



《今日の商業デザイン展 グラフィック'55》
ポスター 1955年



TOKYO
1964

《東京オリンピック公式ポスター第2号》
ポスター 1962年 ポト・ディレクション: 村越義 写真: 早崎治

EVENT PICK UP イベントピックアップ

梅佳代展 UMEKAYO

2014年3月15日(土) - 5月6日(火・休)

アーティスト・トーク&サイン会



気さくな梅佳代さんの話ぶりのおかげで、イベントは終始和やかに行われました。トーク会では撮影の裏話も聞くことができ、大満足の内容でした。サイン会でも、一人一人にイラストの入った丁寧なサインをしていただきました。

新潟が生んだジブリの動画家 近藤喜文展

7月4日(金) - 8月31日(日)

写真撮影コーナー



近藤喜文さんが監督のアニメ映画「耳をすませば」の世界を再現した撮影コーナーを設けました。作品中に登場する情景を再現し、電車のコーナーでは電車が走っていたカンカン帽も用意し、訪れた多くの方が記念撮影を楽しんでいました。

国立国際美術館コレクション 美術の冒險

セザンヌ、ピカソから
草間彌生、奈良美智まで

5月17日(土) - 6月22日(日)

ギャラリー・トーク



国立国際美術館副館長の島敦彦さんによるギャラリー・トークを開催しました。参加者の皆さんへの質問を交えながら、分かり易く解説していただきました。途中、出品作家の榎忠さんもサプライズ登場し、作品を前に当時の事などを話してくださいました。

伊藤若冲と京の美術 — 細見コレクションの精華

9月13日(土) - 11月3日(月・祝)

ミュージアム・コンサート



和楽器ユニット「薰風之音」によるミュージアム・コンサート「和を楽しむ」を開催しました。若冲の生きた江戸初期の筝曲「六段の調」も披露されるなど、作品の世界により一層浸ることのできるコンサートとなりました。

教えて!万代島美術館のこと! ~スタッフ編~

当館では、役割に応じて様々な人が働いています。今回は、その中からご来館の皆さまをいつも笑顔で迎えている受付の職員をご紹介します。毎日、どのような仕事を、どんな風に取り組んでいるのでしょうか。

毎日の業務

私たちは主に受付業務と監視業務を行っています。受付業務では入場の際のお手続きと、お手回り品の確認をさせていただいている。作品保護のため、大きなお荷物・飲食物などは受付にてお預かりしています。監視業務では展示室にて作品保護とお客様の安全を守ること、ご質問があった際、学芸員に問い合わせることなどを行います。

特にお客様の快適さと安全を大切に

たくさんのお客様がいらっしゃる展覧会は受付に長い列ができるてしまうので、誘導係をつけるなど工夫し、できるだけお待たせせずに気持ち良く鑑賞いただけるよう気をつけています。また、どのように忙しい時でも、一人一人が「おもてなしの心」を持ち、笑顔での対応を心懸けています。監視では作品保護第一ですが、お子様の安全のために親御様には手をつないでいただくなど、事故を未然に防ぐよう努めています。

受付の職員は、お客様に気持ちよく来館していただき、美術作品を楽しんでいただけるよう細やかに気配りをして、業務に取り組んでいます。他の美術館職員も、彼女たちの丁寧な仕事ぶりに助けられています。

これからもたくさんの方々に安心して楽しんでいただけるよう、職員一同努力してまいりたいと思います。

美術館にもっと 親しんでみませんか?

サポートメンバーを募集しています



万代島美術館では、皆さんに美術館により親しんでいただくために、サポートメンバー（ボランティア）を募集しています。内容は、美術館および展覧会のイベントへの協力と、当館の活動や展覧会準備の補助です。活動をご希望の方は、お電話にてお問い合わせ下さい。

TEL:025-290-6655

万代島美術館でアートに親しんだ後は……

万代島美術館で美術作品にふれた後は、ぜひ朱鷺メッセの中の他のお店、施設にも足を運んでみて下さい。展覧会を楽しんだ後のおすすめプランをご紹介いたします。

カフェ・レストランでランチ

朱鷺メッセの中には飲食ができる店舗がいくつかあります。美術館前のエレベーターから2階に降りていただくとカフェやレストラン、コンビニが並んでいます。美術館でアートにふれた後のお食事にぜひご利用ください。

2階には、信濃川を眺めながらランチをお楽しみいただける「Bambi」、気軽に軽食がいただける「カフェスポット」、新潟の旬の肴をお楽しみいただける「結-YUI-」の3店舗があります。また、日航ホテルのレストラン「セリーナ」、「桃李」もおすすめです。



レストラン「Bambi」



軽食「カフェスポット」



和食「結-YUI-」

コンベンションセンターのイベントに参加

朱鷺メッセコンベンションセンターでは、様々なイベントを開催しております。

2015年おすすめのイベントは、夏に開催される「ダンボール大遊園地in朱鷺メッセ」です。



クリエーター岡村剛一郎さんによるUFOすべり台や、巨大なダンボール迷路で体を使って遊んだり、工作コーナーでモノ作りの楽しさを実感したりと、ご家族でお楽しみいただける内容になっています。

31階Befcoばかうけ展望室で、新潟の町を見渡してほっと一息

地上約125mに位置し、日本海側随一の高さを誇る展望室です。五頭連峰、日本海、新潟の町並みなど、季節と時間によって変わる景色は見応えがあります。新潟の景色を見ながら、展覧会の感想を語り合ってみてはいかがでしょうか。その他飲食店・売店コーナーもありますので、有意義なお時間を過ごしていただけます。



その他、館内にはアートギャラリーや、朱鷺メッセ付近にはときめきラーメン万代島、ピア万代、また佐渡汽船ターミナルにも、佐渡汽船食堂や立喰コーナー「しおさい」などがあります。万代シティにも近いので、美術館に来ていただいた前後にお買い物もできます。いつも美術館にご来館の方も、初めていらした方も、ぜひ朱鷺メッセの中の施設も楽しんで、より良い休日をお過ごしください。

近代美術館(長岡市)の企画展

【開館時間】午前9時～午後5時(観覧券販売は午後4時30分まで)

【休館日】月曜(ただし月曜が祝日の場合は開館し、翌日休館)、年末年始、展示替期間。

【お問い合わせ先】〒940-2083 新潟県長岡市千秋3丁目278-14
TEL:0258-28-4111(代表) <http://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

2015年2月3日(火)～4月5日(日)

コレクション・ストーリーズ—11年の物語—

4月18日(土)～6月7日(日)

印象派への旅—戦後70年 ひろしま美術館フランス絵画展

7月4日(土)～8月30日(日)

生誕100年 写真家・濱谷浩

9月12日(土)～11月3日(火・祝)

会田誠

11月14日(土)～2016年1月17日(日)

生誕100年 亀倉雄策と『クリエイション』

2016年3月5日(土)～5月15日(日)

思い出のマーニー×種田陽平 展

新潟県立万代島美術館 The Niigata Bandaijima Art Museum

〒950-0078
新潟市中央区万代島5-1(朱鷺メッセ内万代島ビル5F)

TEL: 025-290-6655 FAX: 025-249-7577
URL: <http://banbi.pref.niigata.lg.jp/>



How To Access

新潟県立万代島美術館は、新潟市を貫く信濃川の河口にある複合施設「朱鷺メッセ」の中、万代島ビル(ホテル日航新潟と同じ建物です)の5階にあります。

新潟駅から

- バス……………約15分
(万代橋バス停より「佐渡汽船」行(5番線)あるいは「新潟市観光循環バス」(13番線)に乗車。「朱鷺メッセ」下車)
- タクシー……………約8分
- 徒歩……………約25分
- タクシー……………約20分

自動車(有料駐車場有り)

- 高速道路、北陸道(新潟西I.C.)・磐越道(新潟中央I.C.)・東北道(新潟亀田I.C.)から一般道へ。
新潟バス、亀田バイパスを紫山I.C.で下り、栗ノ木バイパスを新潟西港方面へ。
- 新潟市観光循環バス(13番線)乗車。「朱鷺メッセ」下車

信濃川ウォーターシャトル(水上バス)

- 新潟ふるさと村から……………約50分
- 新潟市歴史博物館から……………約5分

開館時間 午前10時～午後6時

(観覧券販売は午後5時30分まで)

休館日

月曜日(展覧会によって月曜開館あり)、
展示替期間、年末年始(12/28～1/2)
※展覧会によって異なりますので、
展覧会ごとにご確認ください。

観覧料免除

新潟県内の高等学校・特別支援学校が、教育活動として美術館に団体引率をする場合、所定の用紙で事前に(見学の一週間前)申請をすることにより、観覧料が免除されます。美術の授業、社会科見学、遠足などさまざまな形でご利用いただけます。